

スナメリ通信

(TEL) 0957-43-4611

(FAX) 0957-43-4623

2024.4月 春号

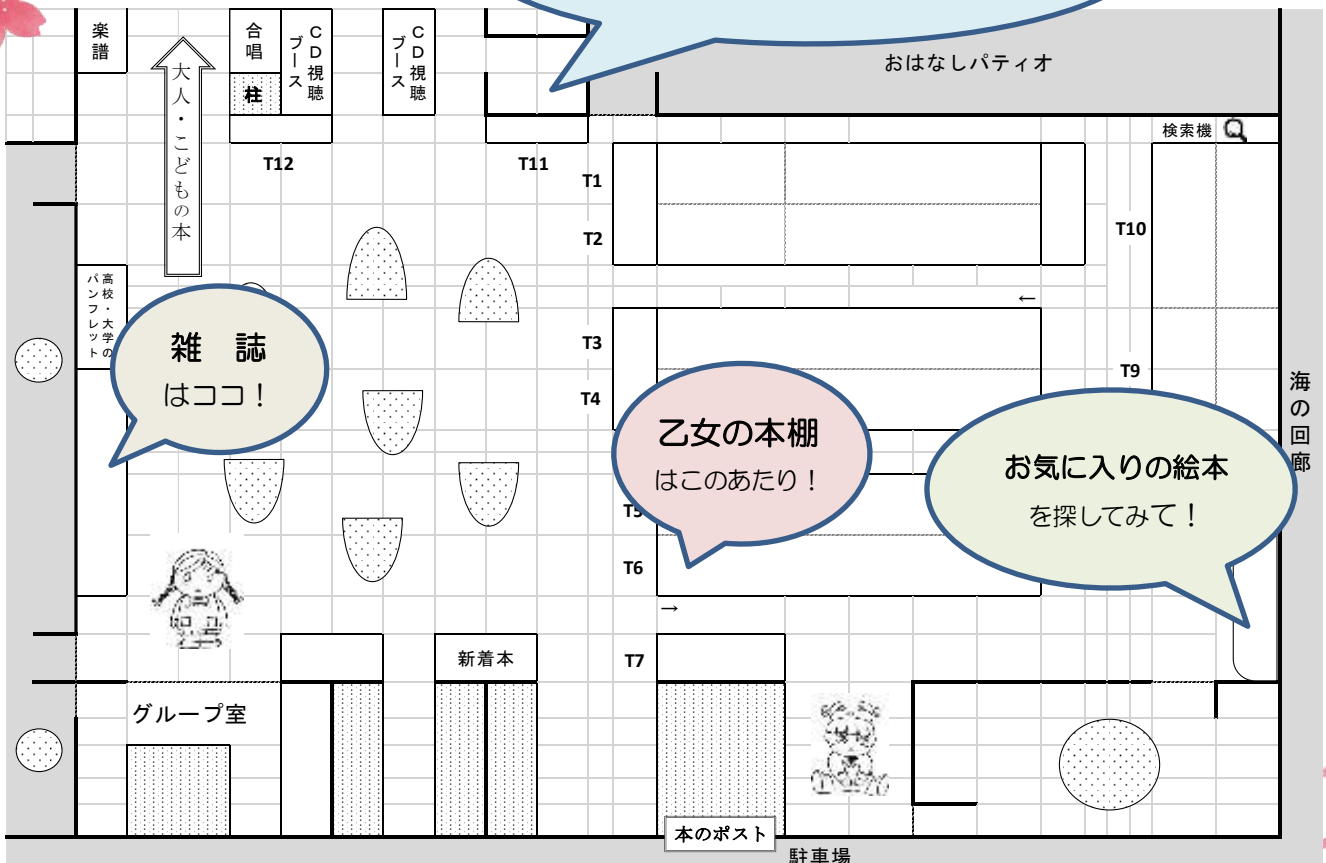
諫早市立図書館 HP は
こちらから →



4月 は入学や学年が上がって、新しい生活が始まりますね！
新しいことを学んだり、挑戦するのに、図書館の本を利用しませんか？
たらみ図書館のティーンズコーナーでは、色々なジャンルの本が
みんなが手にとってくれるのを待ってるよ！

たらみ図書館 ティーンズコーナー

長崎県の子どもにすすめる500選！
(中学生向き・高校生向き)



雑誌は、アニメージュ、ニコラ、ファインボーイズ、バックステージパス、ノンノがあります！

他にも進学・留学・仕事に関する本もあるから、探しに来てね！

諫早市立図書館のカードをつくって、スマホで登録すれば、本の予約や延長も出来ますよ！

たらしみ図書館の
司書がおすすめる

ティーンズ本

『駈込み訴え』

太宰 治／著 ホノジロ トラジ／絵 立東舎



イエスキリストと師弟関係にあったユダは、銀三十枚と引き換えにキリストの情報を売り、いまでは裏切り者の代名詞のように言われることがありますが、この本はまさにユダによる裏切りの場面が描かれています。ユダの主であるキリストに対する思い、憎しみや嫉妬、愛情が最後まで一気に語られています。

太宰の口頭による話を妻の美知子書き取ったことでも知られているこの作品を、挿絵と共に楽しめる一冊です。



『黒板アート甲子園作品集 2019-2022』

日学株式会社／総監修 日東書院本社

日本全国規模のコンテスト『黒板アート甲子園』をご存知でしょうか？中学生・高校生のための大会で、2015年から計8回開催されています。キャンバスは学校の黒板なので、どんなに素晴らしい大作を描いても、それを残しておくことは出来ません。本書は消される運命にある絵に心血を注いだ全国の学生達の迫力ある力作を数多く掲載しています。長崎県から出場した4校の作品も見ることが出来るので、是非ご覧下さい。



『巨大おけを絶やすな! 日本の食文化を未来へつなぐ』

竹内 早希子／著 岩波書店



この本のタイトルだけで、どのような内容の本かわかりますか？
実は、日本の古くからの伝統食である醤油や味噌についての本です。『風が吹けば桶屋が儲かる』ということわざがあるように、以前は桶屋は一般的な職業でした。しかし昨今、桶を製造や修理ができる職人がいる会社は減少し、最後の一社も廃業を決めました。そこで困ったのは古くからの伝統を継承しているある醤油屋さん、果たしてどうなるのか。本書を読むと、日本の四季にあらがわず、ゆっくりつくられた醤油の香りがどこからかしてくるように思えます。

フリースペースの利用について
＜4・5月＞

企画展示が開催される時は、
利用が制限されることがあります。
ご了承ください。

図書館を使いこなして
あなたならではの
読書ライフを送ってね♪

